

松蔭中学校・高校

「伸び伸びと自由で、個性を尊重する」「一人ひとりが個々に目標を持ち、その達成に努力する」。これが松蔭中学校・高等学校（神戸市灘区青谷町）の教育方針であり、進路指導の柱になっている。昨年、創立110周年の節目を迎えた。キリスト教精神を基に、心を開いて接する「オープンハート」の姿勢が、卒業生たちの強い母校愛にも結びついている。

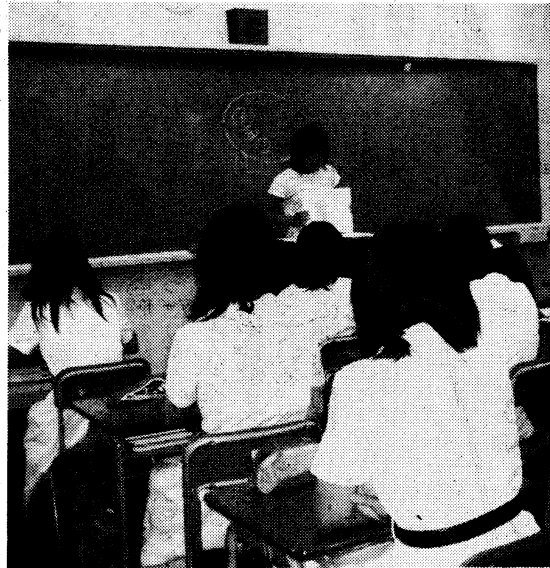


在校生に直接語りかけてもらうのだ。

カリキュラムが組める。進路対策も強化しているが「大学進学がゴールではない。そのプロセスが大事。在学中に人生の動機づけができて、自信をつけられるように導きたい」と川崎弘平校長。

松蔭の進路指導の特徴のひとつに、「進路アドバイザー」というユニークな制度がある。卒業生の中から

時には教師が話すより説得（長）



卒業生による進路アドバイザーの説明は説得力があつて好評だ

る。

進路指導を抜本的に見直して、体系化してからの最近三年間は、近隣国公立大と難関私大への合格者は飛躍的に伸び、昨年度の関西学院大の合格者は四十五人、合格率は八〇%を超えた。

電車の最寄り駅は阪急「王子公園」。摩耶六甲を仰ぎながら上り坂を北へ歩いて十五分。学校は海を見下ろす高い丘に位置している。校内も緑が多い。友情を育むのに「最適の環境」だ。

卒業生が進路アドバイザー

中高の完全一貫教育をとっているので、むだのない

受験体験や学問、職業体験を語ってくれる人材をアドバイザーとして確保し、在

校生に直接語りかけてもらうのだ。

力があつて、刺激を受け、やる気になった生徒もいます」（谷口理・進路指導部

入試に関する確な最新情報を提供する各種入試研究ガイダンスの実施や、年間四十号にも及ぶ手作りの「進路情報誌」の作成にも力を入れ、とにかく目標への意欲向上を大切にしてい

進路が決まった高校三年生が、卒業までの期間を有意義に過ごすよう、新たな目標に挑戦する「チャレンシプログラム」という行事も好評だ。具体的には、校外での清掃奉仕活動、病院慰問、下級生アシスタントなどに取り組んでいる。

教育

きょういしくキョウウイク